

令和元年度 個別事業評価調書

基本事項	事業名	合併処理浄化槽設置整備事業	整理番号	
	根拠法令等	岐阜市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱	実施義務	
	総合計画区分	(3) 安全安心で環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～		
		<2>環境にやさしい岐阜づくり		
③し尿処理・下水道の充実				
総合戦略区分	【3】安心・安全で住みやすい魅力あふれるまちづくり			
	②岐阜市版CCRC構築プロジェクト			
	(3) 住まいの整備			
事業の対象・目的・内容	事業の背景 (課題・市民の要望等)	合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と生活排水を併せて処理することにより、公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上に寄与するため、合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付するものとする。		
	対象 (誰に、何に対して)	岐阜市内に合併処理浄化槽を設置しようとする設置者。ただし、集合処理区域外。		
	目標達成のための具体的手段・方法	岐阜市内の合併処理浄化槽を設置しようとする設置者に対し、設置工事費の一部補助。ただし、集合処理区域以外。		
	目的 (どのような状態にしたいのか)	浄化槽によるし尿の適正な処理を図り、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与する。		

課名:	上下水道課	班名:	下水道班	担当者名:	松本 明久							
事業進捗状況・達成度	成果指標 (目標達成度を図るための指標)	名称・内容等			単位	30	1	2	3	4		
		人口			人	26,536	26,070	26,000	25,900	25,800		
		整備人口または接続人口	目標	人	7,700	7,800	7,900	8,000	8,100			
			実績	人	7,569	7,620						
			達成率	%	98.3	97.7	0.0	0.0	0.0			
		普及率	目標	%	29.0	29.9	30.3	30.8	31.3			
	実績		%	28.5	29.2	0.0	0.0	0.0				
	達成率		%	98.3	97.7	0.0	0.0	0.0				
	活動指標 (目標達成のために行う活動実績)	名称等			単位	30	1	2	3	4		
		浄化槽設置	目標	基	105	105	105	105	105			
実績			基	70	85							
		目標										
		実績										
		目標										
	実績											
事業費等の推移	予算科目		04 款	02 項	04 目	02 大	02 中	小	細			
			事業番号		05137	合併処理浄化槽設置整備費						
	年度		平成30年度 (実績)		令和元年度 (実績)		令和2年度 (予算)		令和3年度 (予算)		令和4年度 (予算)	
	直接事業費		47,438		55,921		73,300		73,300		73,300	
	国庫支出金		9,528		18,938		27,422		27,422		27,422	
	県支出金		10,436		11,409		16,453		16,453		16,452	
	地方債											
	その他特財											
	一般財源		27,474		25,574		29,425		29,425		29,426	
	人件費		6,125		6,125		6,125		6,125		6,125	
職員	人	1,000		1,000		1,000		1,000		1,000		
	千円	6,125		6,125		6,125		6,125		6,125		
嘱託	人											
	千円	0		0		0		0		0		
事業費合計		53,563		62,046		79,425		79,425		79,425		

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）		
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らし、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施（見直しは行わない） <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止（隔年実施などへの変更） <input type="radio"/> D 廃止（終期の設定等を含む）	
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 不可能である。	A			判断理由
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 適応している。	A			
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 合併処理浄化槽の整備のため、工事費の一部助成を行うことで、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与している。	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針 浄化槽設置の要望はあるが、景気の動向に左右されたり、高齢者や独居世帯においては、必要とされているが設置に至らない場合もある。また、浄化槽の機能について、設置者の周辺住民の認識不足があるため、浄化槽について正しく理解されるよう啓発に努める。生活環境の改善及び公衆衛生の向上を目指して更なる推進を図る。		
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 公共下水道、漁業集落排水整備などの集合処理地域以外の者を対象としている。	A			
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 老岐市独自の補助金嵩上や、県費補助金減額分を負担しており、財政的負担の見直しは困難である。	A			
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 景気の低迷、消費税の負担増により、設置要望者の数が伸び悩んでいる。	B	意見等	成果指標の見直しを図ること（接続人口の根拠を提示する）。	
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 現行の体制で努力している。	A	【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】		
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 補助金交付要綱に沿って業務を行っている。	A	① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 循環型社会形成推進交付金、長崎県浄化槽設置整備事業補助金を活用して事業を行っている。	A	③ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）	
		判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算	2.90	意見等	周辺住民への啓発活動に務めるとともに、生活環境の改善および公衆衛生の向上を目指しさらに努力すること。	

・総合評価で「見直し・改善を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事業の改善見直しを行うことにより予想される効果も併せて記入願います。
・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し（改革・改善、終期の設定など）を行っている場合は、その内容についても記載願います。

【2次評価】

総合判定	A 継続実施（特段の見直しは行わない）
------	---------------------

意見等	成果指標の見直しを図ること（接続人口の根拠を提示する）。
-----	------------------------------

【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】	
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減
③ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）

【外部評価】	
総合判定	A 継続実施（特段の見直しは行わない）

意見等	周辺住民への啓発活動に務めるとともに、生活環境の改善および公衆衛生の向上を目指しさらに努力すること。
-----	--

令和元年度 個別事業評価調書

基本事項	事業名	水道事業運営基盤強化推進事業	整理番号	
	根拠法令等		実施義務	
	総合計画区分	(3) 安全安心で環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～		
		<2>環境にやさしい老岐づくり		
総合戦略区分	②上水道(簡易水道含む)の整備			
	【3】安心・安全で住みやすい魅力あふれるまちづくり			
	②老岐市版CCRC構築プロジェクト			
事業の背景 (課題・市民の要望等)	既存の老岐市水道施設の遠隔監視設備の主要部品が老朽化により、メーカーによる部品生産が終了となり、故障時は在庫での修繕となっている。そのため、早急な更新が必要になり、今回交付金事業で対象となる旧上水地区の遠隔監視機器の改良・更新を行う。その後、老岐市全体の遠隔監視設備及び測定機器等が対象となったため、令和6年までの5年間で更新を行い、円滑な管理が出来るよう事業を行いたい。			
	対象 (誰に、何に 対して)	旧上水地区住民→老岐市民全体(市民生活に直結する水道施設のため)		
	目標達成のための 具体的 手段・方法	(1)改良更新計画 水道施設遠隔監視設備の機器更新及びWeb化を行う。 場所:令和1～2年 郷ノ浦地区(旧上水地区:13施設+1) 令和3年～老岐市全域 ※前年に設計業務を行い、次年度に工事発注する。		
		(2)予算 ①設計委託料(単独)R1年度分 ②工事費(交付金事業 補助率1/4) '全体417,180千円「補助基本額402,000千円」(100,500千円)「単独15,180千円」 水道施設 70施設の更新を下記のように予定している。 R2年度(14施設)→R3年度(12)→R4年度(10)→R5年度(17)→R6年度(17) ※R2年度 は郷ノ浦浄水場の改造も入るので、14としている。単体施設は13施設		
目的 (どのような 状態にしたい のか)	令和6年度末までに、老岐市水道施設遠隔監視装置及び計装設備の更新を行い、自然災害での故障を最小限にし、点在する施設の運転管理及び監視の水準を維持しつつ、経費の削減を通じた経営の効率化を図りたい。			

課名:	上下水道課	班名:	水道班	担当者名:	吉田春樹									
事業進捗状況・達成度	成果指標 (目標達成度を図るための指標)	名称・内容等		単位	30	1	2	3	4					
		落雷被害の低減	目標	箇所		2	2	2	2					
			実績	箇所	2	0								
			達成率	%		0.0	0.0	0.0	0.0					
		完了地区の通信料の削減	目標	千円		1,550	490	490	490					
			実績	千円	1,550	1,550								
	達成率		%		100.0	0.0	0.0	0.0						
	有収率の向上	目標	%		64.0	66.0	67.0	68.0						
		実績	%	64.9	64.4									
		達成率	%		100.6	0.0	0.0	0.0						
活動指標 (目標達成のために 行う活動実績)	名称等		単位	30	1	2	3	4						
	テレメータ(NTT回線)から光ケーブル(IP)化した箇所	目標	箇所			14	12	10						
		実績	箇所		0									
		目標												
		実績												
	目標													
	実績													
予算科目	04	款	11	項	01	目	01	大		中		小		細
	事業番号		水道事業会計											
年度	平成30年度 (実績)		令和元年度 (実績)		令和2年度 (予算)		令和3年度 (予算)		令和4年度 (予算)					
直接事業費			7,796		73,200		101,010		75,030					
財源内訳	国庫支出金				17,600		24,592		18,207					
	県支出金													
	地方債													
	その他特財													
	一般財源		0		7,796		55,600		76,418		56,823			
人件費		0		0		0		0		0				
職員	人													
	千円	0		0		0		0		0				
嘱託	人													
	千円	0		0		0		0		0				
事業費合計		0		7,796		73,200		101,010		75,030				

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）	
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている 薄れていない	判定 A	評価結果 ● A 継続実施（見直しは行わない） ○ B1 事業規模の拡充 ○ B2 事業規模の縮小 ○ B3 事業内容の改善・見直し ○ B4 その他の見直し ○ C 休止（隔年実施などへの変更） ○ D 廃止（終期の設定等を含む）	判断理由 この事業で遠隔監視設備の更新を行えば、リアルタイムで施設を監視でき、漏水時緊急対応も迅速に行え、自然災害（落雷）被害の低減、使用料金の削減も見込まれ、経営の効率化も図れる。また、交付金事業での5年間（令和2～6年度）事業で承諾を得ているため。
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 水道事業においては出来ない	A		
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 適切である	A		
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 概ね適切	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針 今回は遠隔監視設備の更新を行うが、現時点での有線の監視施設まで網羅できるか解らない状況です。なお計測機器についても、すべての機器の更新は出来ないため、今後計測機器及び他の水道設備機器の更新も考へ、交付金事業等活用して行きたい。しかし交付金事業に採択基準が厳しいので、単独での更新も考えざるをえない状況。	
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 水道利用者へのサービスとして適切	A		
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 他に機器更新等への事業が無いため適切	A		
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 本年度は測量設計のみ	A	<small>・総合評価で「見直し・改善を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事業の改善見直しを行うことにより予想される効果も併せて記入願います。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し（改革・改善、終期の設定など）を行っている場合は、その内容についても記載願います。</small>	
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 得られると思われる	A	総合判定	意見等
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 現行以上の手法はない	A		
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 改善の余地はない	A		
<p align="center">判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算</p>				3.00	<p align="center">【2次評価】</p>
<p align="center">【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】</p>					
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）		② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減			
③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加		④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）			
現年予算	千円	次年度予算	千円	増減	千円